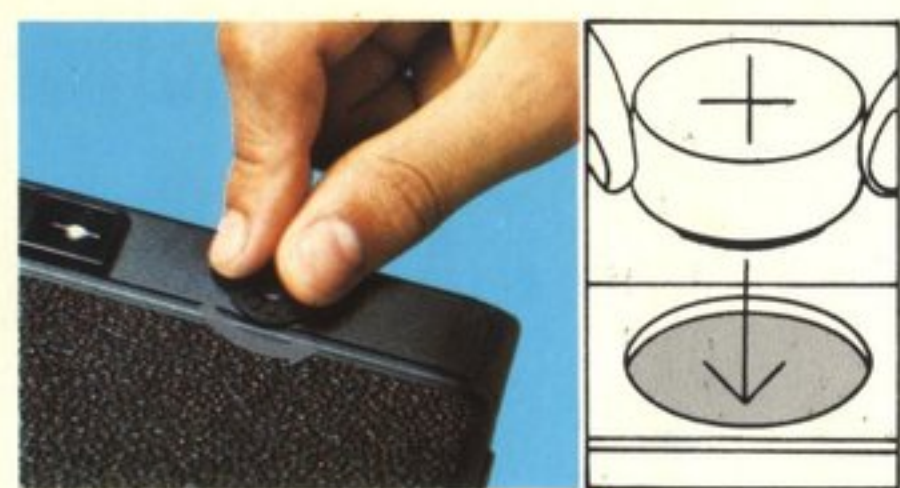


各部の名称



1. まず電池を入れます

※電池は乾いた布で拭いてから入れてください。※長期間使わないときはカメラから取出しておきましょう。



●水銀電池の入れ方(EE用)

- 1) 水銀電池室のふたを、指先で左(反時計方向)に回してはずし、付属の水銀電池を入れてください。
- 2) 水銀電池は、かならず⊕のマークが見えるように入れ、ふたをしっかりとねじ込んでください。⊕ ⊖を間違えるとEEは動きません。

※使用する電池は、1.3V、ナショナルH-C、東芝H-C、マロリーPX-675、エバレディーE.P.X-675などです。
 ※水銀電池は普通の使用で1年以上もちます。明るいところでファインダー内の指針が動かなくなったら、新品と取替えてください。
 ※カメラ店または電気店で新品をお求めの際は、かならず使用済みの電池と引換えてください。完全シールですから中身が洩れることはありませんが、身近かな水銀汚染をなくすためご協力ください。



●単3乾電池の入れ方(ストロボ用)

- 1) 単3乾電池室のふたに爪をかけ、矢印の方向に引くとふたが開きます。
- 2) 付属の単3型アルカリ乾電池2本を電池室内のシールのように⊕ ⊖を正しく入れ、ふたを閉じます。⊕ ⊖を間違えるとストロボは発光しません。

※充電式のニッケド電池は、ぜったいに使用しないでください。
 ※なるべくアルカリ乾電池をご使用ください。普通乾電池でも発光30-60回位はもちます。
 ※新しい電池ではスイッチONからパイロットランプ点灯まで数秒ですが、電池が消耗してランプ点灯まで30秒以上かかるようになったら、新しい電池と取替えてください。
 ※電池の消耗を防ぐため、ご使用後や撮影の合間はスイッチをOFFしておきましょう。
 ※電池の取替は2本同時にしてください。

2. フィルムの入れ方

※フィルムを入れるときは、かならず巻きもどしクランクを元に収めて行ってください。



※このカメラには、35mmサイズのサクラカラーII、サクラカラーR-100、サクラSSをご使用ください。サクラカラーIIにはお徳用の24枚撮りがあります。感度はどれも使いやすいASA100です。
 ※フィルムの出し入れは、直射日光をさけ日陰で行なってください。自分自身の影を使うのも一方法です。



- 1) 裏ふた開閉ノブに爪をかけ、下方(矢印方向)に引くと裏ふたが赤文字のS(スタート)になります。
- 2) フィルムをフィルム室に収め、先端を少し引出して巻取りスプールに差し込みます。たくさんあるミゾのどれに入れても構いません。
- 3) 巻上げレバーを回し、スプロケットの歯にフィルムの穴が両側ともかみ合っていることを確かめた上で、裏ふたを閉じます。裏ふたは確実に押さえてください。
- 4) フィルム巻上げとシャッターボタンを押す動作を繰返して、フィルムカウンターに1を出します。フィルムが正しく送られていると巻きもどしクランクが回ります。
- 5) ASA感度切替えリングを回しASA100(使用フィルムの感度)に合わせます。クリックの中間は使えません。
- 6) これで準備完了、撮影にかかれます。フィルムカウンターは巻上げごとに1目盛進み、撮影枚数を示します。

写し終わったら 巻きもどしてフィルムを取出します

※最後の撮影で巻上げレバーが途中で止まったら、巻きもどしボタンを押しながら完全に巻上げ、レバーを巻ききってください。

※写し終わったフィルムは、お早目にカメラ店にお持ちになり、現像プリントを「サクラカラー現像所」とご指定ください。



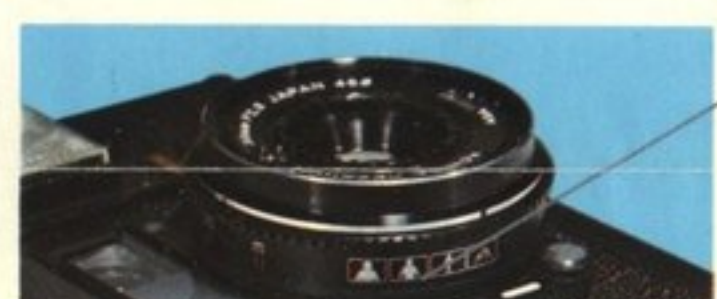
- 1) フィルムのきまった枚数を写し終わったら、カメラ底部の巻きもどしボタンを押し込みます。
- 2) 巻きもどしクランクを起して矢印の方向に回すと、フィルムがバトローネに巻きもどされます。
- 3) 手ごたえが急に軽くなって、巻きもどしボタンの回転が止まったらフィルムを取出します。

コニカC35EFのおもな性能	
型式	35mm判レンズシャッター式ストロボ内蔵EEカメラ
画面サイズ	24×36mm
レンズ	ヘキサノン38mmF2.8 3群4枚 カラダイナミックコーティング
焦点調節	レンズ全群回転繰出しヘリコイド、回転角38° ピントマークによる目測式クリップストップ式 至近距離1m
シャッター	1/60、1/125、1/250秒3速切替のピハインド式プログラムシャッター セルフタイマー内蔵
露出調節	CdS使用のEE機構による自動露出調節電源に1.3V水銀電池JIS H-C型1コ
EE運動範囲	ASA100でEV9(F2.8・1/60)~EV17(F2.2・1/250) ASA400では低輝度EV7まで運動可能 フィルム感度目盛ASA25-400
ファインダー	採光式プライムフレーム 倍率0.46X 近接修正マーク 絞り目盛、ストロボマーク、ピントマーク表示
ストロボ	切替えボタンの1操作でストロボ自動上昇スイッチオンオートフラッシュマチック機構 ASA切替えによるガイドランプ、アイポイントパイロットランプ付日中シンクロ可 ガイドNo.14相当(ASA100-m) 電源に1.5V単3型アルカリ乾電池2本 発光時間5-7秒 閃光時間1/1000秒 簡便なコニカEL方式
フィルム	フィルム巻上げトップレバーによる1操作巻上げ 巻上げ角132° 引出し角30° セルフコッキング 二重露出防止 順算式自動復元フィルムカウンター クランク式巻きもどし
フィルター	ねじ込み式 ねじ径46mm
大きさ・重さ	128×73×53mm 350g(電池別)
仕様	外観は予告なく変更することがあります。

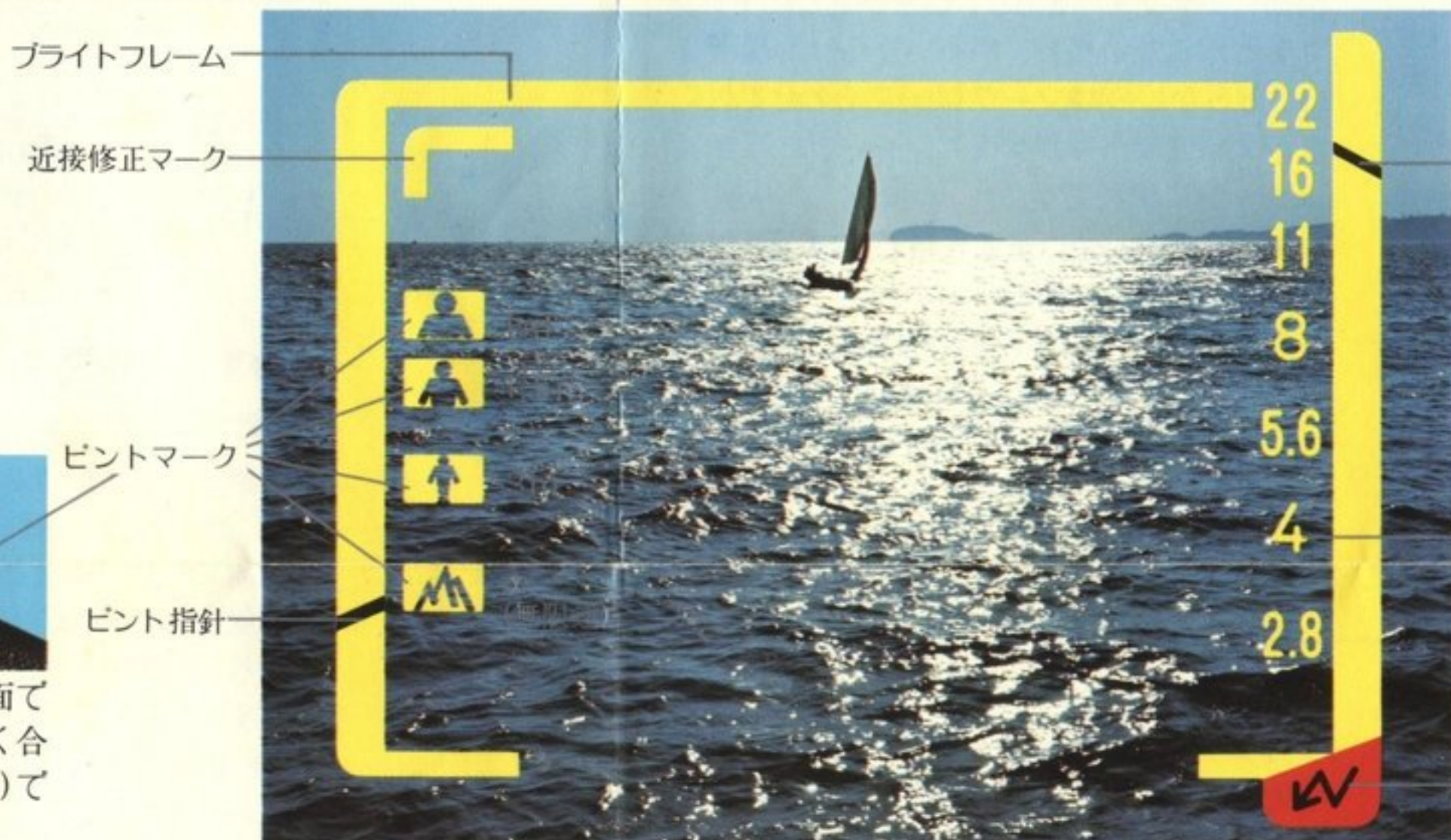
撮影にあたって ファインダーをのぞきピント合わせとEE露出の確認をします

●ピントマーク合わせ

ファインダーをのぞきピントマークを合わせてください。これを忘れるとピンボケのボヤッとした写真になります。
 1) フォーカスノブを回し、ブライトフレーム内に見える人物の大きさ(大人の場合)と同じピントマークに指針を合わせればよいです。ブライトフレーム内に見える人物の大きさが、
 大人の胸から上のときは **1m**
 大人の腰から上のときは **1.5m**
 大人の全身が入るときは **3m**
 また、遠くの人物や海、山などを撮るときは **5m以上**のマークに合わせるとシャープな写真が写せます。



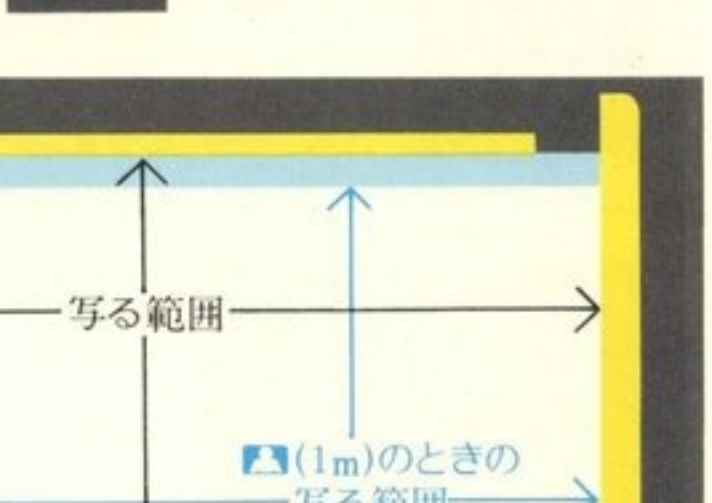
2) ピントマークはレンズの側面でも合わせられます。またこまかく合わせたいときは、距離目盛(m数)で調節してください。



●EE露出の確認

このカメラは、被写体に向けてシャッターボタンを押すだけで、絞りもシャッター速度も自動的に正しくきまるEEカメラですが、EEが正しく働いているかどうか、ファインダーをのぞきながら確認してください。
 1) メーター指針が黄色の適正露出範囲にあるときは、EEが動いて適正露出の撮影ができることを示しています。指針の指す数字はそのときの絞り目盛です。そのまま写してください。

2) メーター指針が赤色のストロボマークにあるときは、EEでは暗すぎるのでストロボ撮影をします。(裏面参照)



●写る範囲

1) ブライトフレームで囲まれた内側が写る範囲です。この枠のなかに人物を入れてください。
 2) ただし、撮影距離が **1m** のときは、近接修正マーク内が写る範囲になりますのでご注意ください。

ピッカリコニカ

KONICA C35 EF

上手な写し方



サクラカラー 24



1 手ふれのない
高速シャッター完全EE



3 写す人も一緒に
セルフタイマー内蔵



2 カラーがさえる
日中シンクロ撮影



こんなときにピッカリ、ストロボを使いましょう！



③逆光の人物：晴天戸外でも写される人のうしろから太陽が当たっているときは、人物が暗くなるのでEE+ストロボで写しましょう。

④早朝、夕方の人物：うす暗い日の出、日没時にも、ストロボではっきり写せます。

⑤くもり日の人物：E Eだけではくすんだ色に写りがち。ストロボをプラスすれば、いきいきと冴えた色に写せます。

同じ被写体を、ストロボなしでE E撮影。

コニカC35 EFは高速シャッターの完全E E撮影とストロボ撮影の両方ができ、どなたにもシャープで色調の美しいカラー写真が写せます。戸外の人物や風景はE E撮影、室内や戸外の逆光人物などはストロボ撮影と、写す条件によって使い分けが簡単です。またセルフタイマーで写す人も一緒に記念撮影ができます。



しっかりかまえて

カメラは両手でしっかり持って軽く顔に押しあて、両ひじを体につけるようにして安定した姿勢をとり、シャッターボタンを静かに押し下げてください。ヨコ位置だけでなく、タテ位置も同様にカメラぶれしないようにかまえますが、ストロボ撮影でタテ位置に写すときは、ストロボが上になるようにしてください。



昼間の戸外では、写そうと思うものにカメラを向けてシャッターボタンを押してください。絞りもシャッター速度も自動的に正しく決まり、美しいカラー写真が写せます。
*E E撮影ではストロボのスイッチはOFFの状態のまま写します。

●運動会や海辺で……
瞬間にシャッターをきり、いきいきしたチャンスをとらえたい場合、明るいひらけた場所なら、あらかじめMマーク(3m)に合わせておくと、2m位から先がすべてシャープに写せ、スナップに便利です。

●明るい画面、暗い画面を望むとき
シャッターボタンを軽く押すと、ファインダー内に見えるメーター指針が固定されます。実際の感じより明るめに写したいときは、カメラを少し下向きにして指針を固定し、そのまま被写体に向けてシャッターをきります。逆に暗くしたいときは、上向きにして指針を固定したまま、向け直せばいいのです。

EE撮影とEEの生かし方



セルフタイマーの使い方



セルフタイマーレバーを左下方にいっぱい回してセットし、シャッターボタンを押すと約8秒後にシャッターがきれれます。カメラを三脚にすえてセルフタイマーを使えば、写す人も記念写真の画面に入れます。

*カメラの前に立ってシャッターボタンを押すと適正露出にならないのでご注意ください。
*セルフタイマーレバーは、セット後手でもどさないでください。
*撮影前に巻上げレバーの操作をお忘れなく。



接写・複写にオートアップ



コニカオートアップCA46をレンズの前面に取付け、E Eのまま50cm-1mの接写ができます。人物のクローズアップ、花や静物などの接写、あるいは図書、絵画、写真の複写が簡単にできます。
●距離目盛の合わせ方
カメラ背面から被写体までの距離を、巻尺などで測って、下表により実測した撮影距離に対応したカメラの距離目盛を合わせてください。

距離目盛(m)	1	1.5	2	3	5	∞
実測距離(cm)	50	60	70	75	80	100

専用コニカフィルター(46mmねじ込み式)
カラー黑白両用 UV、ND2、ND4、ND8
カラー用 SKYLIGHT、A2、B2、B8、B12
黑白用 Y1、Y2、Y3、O1、R1、P00

露出倍率は、実用上補正の必要がありません。
UV、SKYLIGHTはレンズ保護のため、常用をおすすめします。

レンズフード46mm(ゴム製折畳式)
セミハードケース
カメラ保護の堅牢ケース



パイロットランプが点灯してからシャッターをきる

撮影が終わったらストロボ部分を押し下げる



ストロボの使い方

夜間や室内でファインダー内のメーター指針が赤色のストロボマークを指すときは、ストロボ撮影をします。

1) ストロボアップボタンを矢印の方向に押せば、ストロボ部分がポンと上にあがり、スイッチが入ります。

2) 軽い発振音が続いて数秒たつと、カメラ上部およびアイポイントパイロットランプが点灯します。これで発光準備完了です。

3) 撮影が終わったら、ストロボ部分をボタンと止まるまで押し下げてください。スイッチOFFとなります。

*ストロボのガイドNoはASA100のフィルム使用の場合、約14(m単位)です。

人物までの距離は……

●指針がストロボマークにあるとき

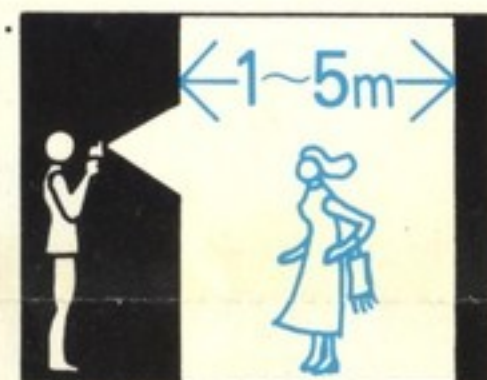
暗すぎてE Eが動かないときのストロボ撮影では、カメラから人物までの距離を1-5mの範囲で写してください。(ASA100のフィルム使用時) 距離合わせに応じて絞りが適正に絞られ、E E同様に気軽にストロボ撮影ができます。(オートフラッシュマチック機構) ASA100以外のフィルム使用時の距離範囲

ASA感度	25-40	50-64	80-125	160-200	400
距離 m	1-2.5	1-3.5	1-5	1.2-5	1.8-5

●指針が適正露出範囲内にあるとき

明るくてE Eが動いているときのストロボ撮影では、カメラから人物までの距離を下表の範囲内で写してください。(日中シンクロ撮影)

逆光、室内窓際人物	1-3m	ASA100の
くもり日、夕方の人物	3-5m	フィルム使用



連続して撮影するとき……

ストロボのパイロットランプが点灯しているのを確認した上で、シャッターをきってください。パイロットランプが点灯しないうちにシャッターをきくと、発光しないが発光しても光が弱く、露出不足で暗くなります。
*発光間隔は新しい電池で5-7秒ですが、電池が消耗するにつれて遅くなります。
*アイポイントパイロットランプは、ファインダーをのぞいたままでもよく見えるので、連続撮影時に便利です。

ご注意 ●カメラを雨などでぬらすことはよくありませんが、もしぬらしたときは、乾いた布でよく水分を拭きとってください。
●もしもカメラが故障のときは、高電圧回路がありますので、自分で分解しないで、お買上店にご依頼になるか、最寄りの当社サービスステーションにご持参ください。
●半年以上ストロボをご使用にならないときは、コンデンサーの性能維持のために発光テストをしてください。

コニカカメラ・サービスステーション
東京(103) 東京都中央区日本橋室町3-1 ☎(03) 270-5311 大代表
大阪(542) 大阪府南区長堀橋1-3 ☎(06) 252-5246 大代表
名古屋(460) 名古屋市中区大須2-3-2 ☎(052) 231-6241 代表
福岡(812) 福岡市博多区博多駅前3-3 ☎(092) 451-4811 代表
札幌(060) 札幌市中央区北一条西14-4 ☎(011) 261-0261 代表
広島(733) 広島市本川町1-1-26 ☎(0822) 91-1654 代表
仙台(980) 仙台市一番町2-8-18 ☎(022) 21-1541 代表
金沢(921) 金沢市東2-15-35 ☎(0762) 43-5366 代表
高松(760) 高松市番町4-10-16 ☎(0878) 33-5246 代表
新潟(951) 新潟市西堀通6番町891 ☎(025) 24-7211 代表
岡山(700) 岡山市石原町5-3-101 ☎(086) 25-3031 代表
静岡(420) 静岡市西草深町6-33 ☎(054) 55-2228 代表
横浜(231) 横浜市中区太田町1-9 ☎(045) 212-3821 代表
神戸(658) 神戸市東灘区住吉町1-2-25 ☎(078) 841-1431 代表
京都(606) 京都市左京区九条町通新道電停前 ☎(075) 761-3321 代表
●海外 New York/Los Angeles/Hamburg